

- 新発田事務所
〒957-0053 新潟県新発田市中央町2-4-21
TEL. 0254-21-0700 FAX. 0254-21-0707
 - 村上事務所
〒958-0857 新潟県村上市南町2-5-19
TEL. 0254-50-1755 FAX. 0254-50-1756
 - 国会事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館820号室
TEL. 03-3508-7493 FAX. 03-3508-3320
- E-mail : kuroiwa-11@prontnet.ne.jp
ホームページ: <http://www.t-kuroiwa.jp>
携帯ホームページ.....▶

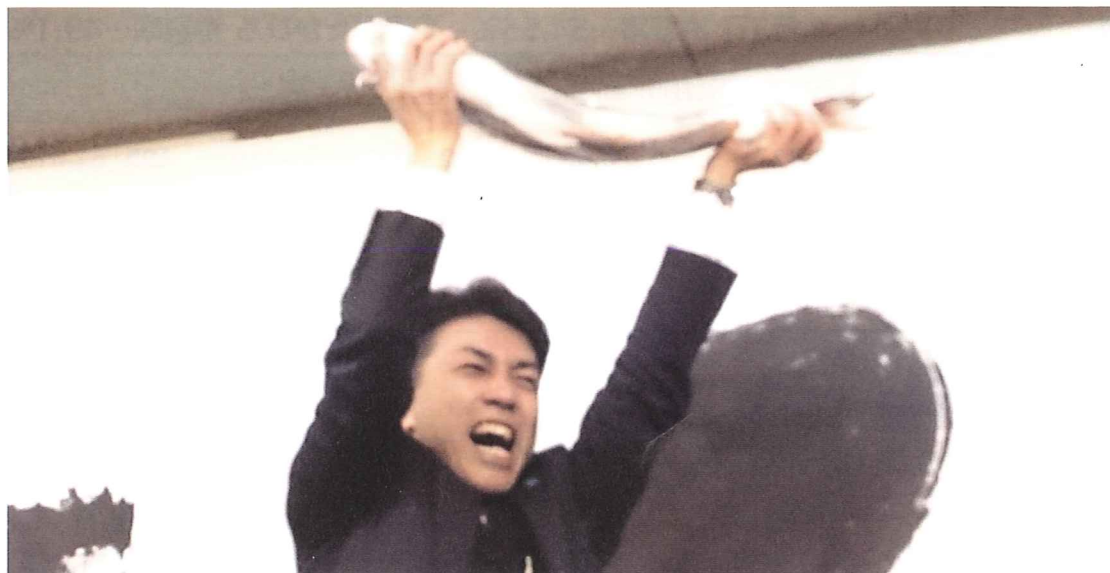


まつりごと 黒岩 政 通信

「黒岩たかひろ応援団」会報

第14号
2015年1月10日発行

復活! 県内唯一 小選挙区勝利!!



喜んで鯛を持ち上げる黒岩

新年あけましておめでとうございます。昨年末の総選挙では大変気温も寒く政治的にも逆風の中多くの皆様の励まして当選し、国政に復活する事が出来ました。皆様からの重い付託を全身で背負わせて頂きます。(選挙活動に対する文書での御礼は法律で禁止されていますのでどうかご理解頂きます様お願い申し上げます)

この度の総選挙において安倍総理が示した争点は「アベノミクスの是非」。そもそもアベノミクスの問題はあまりにも「光と影」がはっきりしている事です。残念ながら「影」の代表は農業であり高齢者であり非正規労働者であり、また地方そのものと言えましよう。私の選挙区である新潟3区は地方の典型的な広大で農山漁村を多く含む地域です。その住民の皆様の痛みを、つらさを、嘆きを、怒りを中央に命がけて届けねばならない死に物狂いの戦いでした。政治は本来なかなか光の当たりづらい方たちに、地域地域に、ほのかでも優しい光を当てる事だと確信しています。自ら光り輝いている方たちを否定的に申し上げる気は毛頭ございません。その方たちにもっと光り輝いて頂く事も政治の大きな役割です。ただ、政治が万能でないのなら優しい光が射す事を最も強く願っている方たちにそつとその力を、手を差し伸べなければならぬのではないのでしょうか。

特に農業を例に安倍政権の姿勢を質したいと思えます。農家は昨年平均数十万円規模の「現金収入」が減ったわけですが。にもかかわらず安倍政権は農業に対するマスコミの質問に「今後新たな『農業ビジョン』を構築していく」と答えるのみでした。国民はビジョンで暮らしていきけるのではないのです。「現金」を得てそこから「消費」をして「食べて」「生きていく」。この「現実感」の届かない政権に国民の暮らしを任せる訳には参りません。

私はこの度新潟3区という選挙区で小選挙区当選を果たさせて頂きました。この選挙区で名前を書いて頂いて国会へ送って頂いたのは私一人です。(比例復活とは北信越ブロックの5県の方たちから政党名を書いてもらって当選したことを意味します)。私はこの選挙区の代議士として新潟3区の声を暮らしを徹底して中央に全国に届けて参ります。引いてはこの事が国全体の利益となり「光と影」のない政治が実現できるはずはです。

今後命がけて新潟3区の代弁者という立場で天下国家を語り、多様な意味で豊かな国になる様精進して参る所存です。今年一年皆様のお幸せをお祈りし、私自身が微力でもその一助になる事をお誓い申し上げまして年頭の挨拶とさせて頂きます。

衆議院議員

黒岩 宇洋



※今回は総選挙後間もない事もあり四ページ構成である事を御容赦願います。

2014衆議院選挙 当選 34票差を胸に

「黒岩復活」

走った・泣いた・笑った



死

数字で見る2014衆議院選挙

◆第3区の市町村別得票数

◆第3区 投票率…54.55%

◆黒岩たかひろ 得票率…49.1%

候補者名	新潟市 北区(旧豊栄)	新発田市	村上市	五泉市	阿賀野市	胎内市	聖籠町 (北蒲原郡)	阿賀町 (東蒲原郡)	関川村 (岩船郡)	粟島浦村 (岩船郡)	第3区計
黒岩たかひろ	9,432	23,021	14,578	11,427	9,635	6,663	2,612	3,736	1,410	105	82,619
齋藤 洋明	7,533	17,782	16,278	9,343	8,280	7,584	2,590	3,038	1,734	157	74,319
伊藤 誠	1,717	2,483	1,761	1,750	1,941	770	313	337	137	5	11,214

11月21日、風雲急を告げ、衆議院が解散致しました。そこから黒岩「復活」をかけた戦いの幕は切って落とされました。12/2公示、12/14投票と日程が示され、僅か10日余りでの選対立ち上げという異例のスピードで選挙戦に突入する事態となりました。



11月22日選対事務所開き

11月22日選対事務所を開き、事務所開きには急なご案内にも関わらず地元首長を始め協力団体、大勢の後援会の皆様が所狭しと押し寄せました。黒岩は挨拶の中で、「この戦いはアベノミクスと地方の戦いだ。地方の暮らしを守る為、必死で戦う」と力強いメッセージを発信し、呼応するように会場も熱気に包まれました。

12月2日よいよ衆議院選挙公示日を迎え、12日間の選挙戦の始まりです。

日に日に街宣車への反応も上がってきます。前回選挙34票差で敗れた悔しさを秘め街宣部隊も必死



12月2日出陣式

の訴えを続けました。特に農村地域では「農家は立ちいかない状況まで来ている、農家の所得補償復活を目指す」と訴えると寒い中、家からお出まし下さり、沢山の激励をもらいました。



連舫参議員 事務所へ激励に

また、新潟3区は全国的にも重点区域ということもあり、民主党本部より知名度の高い国会議員を多数送り込んで下さり、同僚や先輩議員



聖籠地区演説会

復活！」～戦いの軌跡～

に物狂いで駆け抜けた12日間



薄暗い早朝からおはよう行動を行う



安住 淳

五泉市集会 安住元財務大臣応援に



阿賀野市集会 連舫・白参議員、応援に



新発田集会 玄葉元外務大臣応援に



岡田克也代表代行応援に



前原誠司元外務大臣応援に



野田佳彦前総理応援に



枝野幸男幹事長応援に



最終日 商店街を走る黒岩

からも「絶対国政に必要な人間、必ず戻ってくるよう皆さんの応援をお願いしたい」と檄を頂きました。

そして選挙戦終盤、マスコミ各社の報道では「新潟3区大接戦」と報じられ、最後まで勝敗の行方は分からない情勢となりました。我々黒岩陣営は前回あと34票あれば復活当選できたあの思いはもうしたくないと、それぞれが最後まで支持の拡大に取り組みました。

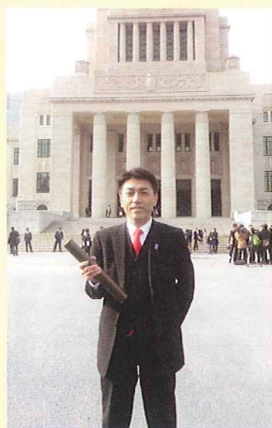
結果は小選挙区で82,619票を獲得し、相手候補に8,300票差をつけて新潟県で民主党唯一の小選挙区勝利となりました。

皆様お一人お一人の力の結集が、黒岩を勝利へ導いて下さった事を黒岩は胸に刻み、国政での仕事でお返して参ります。



当選バンザイ! あまりの疲労で笑顔も涙すらも出ない黒岩

「次なる戦いは始まった」——「34票差」は一生忘れない



国会初登院

この度の大きな勝因の一つは「34票差」の悔しさ、いわゆる「次点ばね」が大きく影響した事だと思えます。しかし、今回はその「次点ばね」が働かないばかりか「小選挙区で勝利したから大丈夫」という最も怖いフレーズが出てきてしまう恐れがあります。この差はおそらく2~3万票にも及ぶでしょう。

また残念ながら秋に米価が下がった事に加え農家への「所得補償制度」が半減され大幅に減収した農家の皆さんの怒りに火がついた事も選挙においては私への後押しとなりました。

上記の2要素は次の選挙ではありません。だからこそ当選の瞬間に勝利は忘れ、次回の戦いがその瞬間から始まったと自覚しております。翌朝からいつもの雪の中での辻立ち、あいさつ回り、新年の初詣挨拶と地道



当選翌朝の辻立ち

な地元活動に励んでおります。

また、国会での戦いも始まります。数では少数野党。しかし、今回の選挙を思い起こして下さい。

数だけなら支持率、支援業界団体、運動員とどれをとっても自民党の方が圧倒的に上回っていたでしょう。それでも私が勝たせて頂いたのは私を応援する一人一人の方が何倍もの思い入れと活動量で支えて下さったからです。決して少数だから完全に負ける訳ではないのです。

国会と選挙では事情は異なります。ただ、ゴールは多数決でもそのプロセスにおいて一人一人が2倍3倍働けば結果は異なるでしょう。具体的には法案に修正を効かせるとか付帯決議を付けさせるとか名称は言い分を採用しても中身では少しでも果実を得るとか。数では負けても質と情熱では絶対に負けない、その覚悟が試される任期となります。

「34票差」の悔しさは一生忘れる事はありません。この想いを胸に秘め命がけで仕事をして参りますし、皆様にも「34票差」を忘れる事なくご支援頂きます様よろしくお願い申し上げます。



諏訪神社前に年頭挨拶

国政での3つの決意

- 1、「農業者所得補償制度」の復活を目指す
- 2、社会保障の充実(年金、医療、介護、子育て支援)——既に上げた消費税(8%)活用
- 3、地方の景気活性化——雇用の安定化や商店街の再開発



「黒岩たかひろ応援団」に是非ご入会を!

「黒岩たかひろ応援団」は黒岩たかひろの更なる飛躍を期し、会員一人ひとりがその政治活動をサポートすることを目的として設立された会員組織です。皆様から頂いた会費は、会報の発行を含む政治活動に活用させて頂いております。

また、応援団ご入会の方には優先的に地域で行われる集会、座談会のご案内をさせて頂いております。今後、より充実した活動を行うためにも多くの方のご入会をお待ちしております。

【年会費】 年額 1口 5,000円より

【お振込先】

郵便局：口座番号 00580-5-74715

口座名義 「黒岩たかひろ応援団」

銀行：第四銀行 新発田支店

口座番号 (普)2150812

口座名義 「黒岩たかひろ応援団」



カンパにご協力を!

応援団会費年額5,000円以外にも、随時カンパを受け付けております。ご協力頂ける方は、下記までお振込み下さい。

【お振込先】 郵便局：口座番号 00550-4-74787 「黒岩宇洋と歩む会」

銀行：第四銀行/南新潟支店(普)1769845 「黒岩たかひろと歩む会」

FAX通信

毎週月曜日に黒岩自身が毎日更新しているブログから、選りすぐって2日分ダイジェストでFAX通信としてお送りしています。自宅でインターネットの環境がない方、ドンドン黒岩事務所までお申し込み下さい! 申し込みFAX番号 **0254-21-0707**

今まで黒岩事務所へ長年勤めてきました小林秘書が昨年12月をもって円満に退職いたしましたことをここに報告いたします。1月よりスタッフも増員し新体制で事務所をスタート致しますのでスタッフ共々ご指導の程宜しくお願い申し上げます。